

○中学校建設計画について

・16年度末で基金積立金2・57億円の見込。  
 ・平成13年度の概算で建設規模22億円程度。その場合で国庫補助金4・38億円、起債3・55億円、一般財源13・25億円の予定である。

・現段階では具体的な計画はない。が42年経過しているが、50年経過で建設となると毎年1・3億円積立金が必要となる。

・湯沢高校の扱いでは、中学校と敷地の関連性があることから、土地利用で考えることになる。

・県の方針として、40〜50年経過で建替えたが、国、県とも財政が厳しい事から、再度大規模改修を行う方針と聞いている。

○ALT（外国語指導助手）の評価について

・平成2年から継続している事が子供達には良い影響をあたえている。保育園児は外国人に對

して、違和感を持たなくなつた。

・国の補助事業に比べ、制約がなく費用的には大差がない、現在の委託契約が良い。

○湯沢高校存続と教育問題について

・現執行部体制で存続運動と湯沢高校が統合された後についての事にも取り組みをする。

・町民アンケートの意見集約を行っている。

・9月15日、県に陳情予定である。

■開会中の委員会審査

平成16年6月11日

○議案第57号

平成16年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員で可決すべきものと決定。

○議案第58号

平成16年度老人保健特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員で可決すべきものと決定。

のと決定。

○議案第60号

平成16年度介護保険特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員で可決すべきものと決定。

○議案第62号

平成16年度病院事業会計補正予算（第1号）については、賛成全員で可決すべきものと決定。

○請願第8号

「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求める請願は、賛成全員で採択すべきものと決定。

○陳情第5号

公教育としての私立高校を守り発展させるため、私学助成の増額を求める意見書提出に関する陳情は、賛成全員で採択すべきものと決定。

産業建設常任委員会報告

■閉会中の委員会調査  
平成16年7月13日

○陳情第4号

フィッシングパーク隣接地取得に関する陳情について  
 賛成少数で不採択すべきものと決定

○調査の内容

6月議会より継続調査となっていた。事務局より陳情土地の概要と経過、担当課長より設立経過と現状について説明を受けた。陳情参考人より、「競売情報」が4月にあった。駐車場の不足解消とルアー、フライフィッシングゾーンを新設して長期安定経営を行うために隣接地を購入して頂きたい。」旨の説明の後質疑。現地を視察後会議を再開。

○主な質疑

Q 土地の取得は競売前か。

A 今すぐではない。競売の2、3回目の条件

の良いときに。

○主な意見

内容は理解したが、参考人の考えと陳情内容に違いがある。不採択として競売後に再提出を。地域の夏観光に貢献している。今後の競売等の推移を見たなかで検討する。

第7回委員会

平成16年9月8日

○観光事業会計について

○調査結果

・夏場営業実績

ロープウェー利用者  
 7月、8月前年比93%。

4月〜8月14万9千903人、前年比96・4%、売上は1億5千600万円の103・4%だが大源太の委託料が含まれる。

・経営合理化対策の進捗状況

布場スキー場改革案について地元説明会開催を予定。借地料について役員会に妥協案を